

LA VIDA EN MÉXICO~

～新年の始まりとチアパス紀行～

TAKU MINAGAWA Vol.5

□□新年の始まり

2019年の始まりは、チアパスに向かう長距離夜行バスの中にいました。チアパスはグアテマラに接するメキシコ南西の州です。



〔チアパス州の位置※赤丸はメキシコシティ〕

一年の始まりはどこかメモリアルなところで迎えたいと思ったのがきっかけで、まずは世界遺産の一つであるパレンケ遺跡に向かいました。



〔密林に佇むパレンケ遺跡の全景〕



〔神殿と内部〕

パレンケ遺跡は7世紀に栄えたマヤ文明の遺跡で、その95%が未だジャングルに埋もれて発掘されていないという巨大な古代都市遺跡です。18世紀に発見されるまで数百年間、ジャングルの中で眠っていたとされ、悠久の時間の流れを

感じることができました。私は建築設計を仕事としていますが、建築技術という点から見ても当時の人々が持っていた文化・技術の高さには驚嘆するものがあります。



〔自然の豊かさを感じるアグアスル〕

パレンケ遺跡の巡りと併せて、近郊にあるアグアスル(青い水)の滝にも訪れました。アグアスルはバスでの移動の疲れも忘れるほどの雄大な自然で、多くの観光客や地元の人々が楽しげに泳いでいました。

□□ サン クリストバル デ ラス カサス San Cristóbal de Las Casasとカフェ文化

チアパスは大きな州で、いくつもの見どころがあります。その中でも、訪れたサン・クリストバル・デ・ラス・カサスは非常に魅力的な街でした。



〔サン・クリストバルの街並み(上)と広場(下)〕

LA VIDA EN MÉXICO~

～新年の始まりとチアパス紀行～

TAKU MINAGAWA Vol.5

パステルカラーで彩られた建物はカラフルで可愛らしく、コロニアルの様式が豊かな街並みを作り出しています。チアパスではコーヒーとカカオの生産が有名ですが、サン・クリストバルでは街のいたるところでカフェに出会うことができます。コーヒーの種類もたくさんありますが、中でもカカオをふんだんに使ったチョコラテはここでしか味わえない逸品です。パレンケ遺跡のパカル王はカカオを日常的に食しており、当時にして80才の長寿を生きたといふほど、カカオの健康パワーと文化の深さを知ることができます。



〔カフェとチョコラテ〕

サン ファン チャムラ

□□ San Juan Chamula、インディヘナの村

チアパス滞在で印象的だったのは先住民であるインディヘナが多く住む村へ訪れた事でした。チアパスは多くのインディヘナが住む地域ですが、中でもチャムラの村では6割近いインディヘナが生活しています。スペイン人のメキシコへの到来(15世紀)前から生活しているインディヘナの人々は、固有の言語、そして独自の文化を保ちながら生活しています。



〔町の教会と、織物をするインディヘナの女性〕

ただし、彼らを取り巻く状況は厳しく貧しい家庭がほとんどで、学校に行けない子供たちも多くいるのが実情です。メキシコは貧富の差が大きい国ですが、その下層にいるのがインディヘナの人々です。彼らの主要産業の一つは美しい織物ですが、一つを織るのに手仕事で2週間、それらを5-600ペソ(3000円程度)で販売しており、大変な現実であることを知りました。



〔織物と昨年震災により倒壊した教会〕

□□新学期の始まり

年明けは旅行をしていましたが、学校では月の中旬から早速新学期が始まりました。現在私はEspañol 6(全部で8レベルある中の6つ目のスペイン語クラス)を取っています。このクラスを無事に終わると、学外での活動・自主研究ができるようになるので、本業である建築に関わるプロジェクトや活動を行うことを検討しています。

□□気になったニュース

1月、メキシコシティで大きな問題となったのがガソリン不足でした。その理由がガソリンの盗難という大規模な組織犯罪であり、昨年12月に発足したオブラドール新政権が、盗難取り締まりの為にガソリンの供給を制限したことによります。制限の間はガソリンスタンドで供給を待つ人々の列や車の渋滞が各地で起き、社会問題となっていました(2月現在、状況は平常に戻っています)。

□□次回に向けて

2月号は現在学校で学んでいる授業の内容や、学校を出た後の活動計画をお伝えする予定です。